

令和4年 第2回府中市環境保全活動センター検討調整会 議事録

■日 時：令和4年5月23日（月）午後2時～

■場 所：本庁東庁舎8階 会議室A

■出 席：（敬称略）

（委員）（7名）室 英治、塚原 仁、増山 弘子、表 伸一郎、小西 信生、
吉武 考三郎、森嶋 正行

（事務局）（3名）田中 啓信、田口 敦、塚原 二郎

■欠 席：（敬称略）

（委員）（3名）山田 義夫、成瀬 こずえ、石川 伊智郎

■議 事

※会に先立って、前回、ご都合によりご欠席でした新任委員の吉武 考三郎委員、森嶋 正行委員のお二人がご出席いただきましたのでご紹介いたします。

1 報告

① 令和4年度第1回検討調整会議事録

一箇所について、社会教育団体で中央文化センター登録の団体数が60団体程度と思われるが環境に関係した団体は当会だけである、に訂正することです承。

② 府中かんきょう塾 2022 第1回の開催結果について

府中かんきょう塾第1回は21名の参加者があった。そのうち3名は直前のメール配信をみて参加された。今回はアンケートを集めていないが、脱炭素社会というテーマの関心が高かったようである。講義後の質疑応答やフリートークでは、時間一杯まで講師に問いかけ話を聞いていた。このフリートークでは講師の方からもグループ活動について話をいただいた。このためかグループ活動に参加する方が5名いた。サポーターに協力してもらい第7回の発表会につなげていきたい。なお、参加者には中学生も含まれている。また、第1回講座が、コロナ渦での開催で心配されたが無事終了することができた。

③ その他

二人の委員から、前回、市長に提言した時の文書資料が配付された。

2 議事

① 令和4年度 府中かんきょう塾 2022 の内容確認

府中かんきょう塾 2022 の全体案内に沿って確認を行った。第7回のグループ活動の発表はどうか。1グループだけでは足りないのでは、過去のグループ発表のビデオがあればそれを流したい。第2回は、小網代の森へバス見学。県、市、市民団体の三者で管理している緑地を見に行く。第5回の講師については直接 JICA 関係者ではないので JOCV 関係者に訂正する。講座一覧表の日付でゴシック体は決定したもの。明朝体はまだ決定していないものになる。この連続講座は保険に加入している。

③ 令和4年度の活動センター事業

今年度はこれまでに中止した講座等はなく順調に進んでいる。「環境まつり」の期間を6月6日から30日までに訂正。広報には田んぼの学校が活動センター事業として掲載されていたが、この一覧表にはない。田んぼの学校他複数の事業を活動センターから府中かんきょう市民の会へ委託しているもので、この表に掲載していなかったが、今後は掲載する。出来るだけ多くの情報を出すような、市民に対して活動センターのPRは必要である。

活動センターと自然保護係で同じような講座やイベントをやっているようだが、別枠で動いているもので、環境政策課内での内容を整理し協力体制を整え、間口を広げてPRし活動していきたい。活動センターの役割に環境パートナーシップの構築という位置づけがあり、課の中でいくつかの事業がある。これらも含め活動センターの事業として、このような事業を発信していきたい。また、活動センター職員だけでなく、それぞれを担当する職員が関わるべきと考えている。こういった内容の事業の見直しが必要と考えている。

活動センターの検討調整会委員というのはどのような議論をするのか。活動センター自体のことがきちんと整理されていない。そもそも活動センターは施設ではなく規則に制定されているもので、一つの機関であり課と同じようなものである。その役割は環境基本計画に環境パートナーシップの構築があげられているが、その形として活動センターがある。その運営の主体は市となる。運営内容の具体的な検討過程の中で市民、事業者、教育関係者により検討していただいていた。活動センターに関わる人を増やすため、かんきょう塾で多くの方に環境に関心を持ってもらい参画してもらうことを期待したが10年が経

過している。しかし、多くの人の参画が得られたとはいえない状況と考えている。今後は、今は一緒にやっていないが環境に関心のある方をどのように巻き込むか。少し難しいと思うが、今、働いている方々にアピールができていないのか、まったく環境に関心がないわけでもないで、外来生物、地球温暖化といった関心を持ってもらえそうなことをテーマとして取り上げ参加を促していきたい。これらのことは近年の社会情勢のめまぐるしい変化のため、結果が出にくい状況となっている。そこで、最新の状況を踏まえ改めてここで考え直したいと思っている。

学校がこれまで環境にどのように関わってきたのか、以前は環境教育の推進として盛んに取組み、ゴーヤのグリーンカーテンやゴミの減量などの活動をやっていた。活動センターではこのようなことに関わっていないのか。

本来すべきことができていない。行政の中では環境自体の歴史が浅く、いろいろな仕組み・体制がしっかりしていない。

活動センターだよりを学校に送っていただいているが、SDGsに関連した記事を見てるとどのように取り組むのか、学校としては活動センターとどのようなつながりを持てるかを紹介したい。また、発展途上国での海外協力隊の活動も紹介したいのでJOCVとも関係ができると良いと思っている。

③ 課題参考用アンケート結果について

今後の議題の資料として、以前にお願いした検討課題参考用アンケートをまとめたものを用意した。これは活動センターのサポーターについて委員にアンケートしたもので、それをまとめたものである。現在、サポーターの人数は80名を数え、年間で2～3人の新規申し込みがある。また、サポーターの仕事は何か。今は活動センターの講座・イベントなどの手伝いをお願いしているだけである。しかし、本来はそういうものではないという話があった。ここで改めてご意見を伺うことは、これを基にサポーターの集め方や、活動センターの活動についても影響のある大事な話であり、活動センターのことを考える時の参考用に取り上げた。

3 その他

事務局より、これまでいただいた意見や活動センターのあり方資料を参考として、考えをまとめた資料を作成した。これはこれまでのご意見や活動センターの

あり方検討資料などを整理しまとめたものである。

場所については10年前に活動センターを立ち上げた時はスペースを確保し何とか残すようにしてきたが、府中市公共施設マネジメントで全市的に施設の見直しを行っている中で、活動センターのスペースを残すことが大変難しい状況になっている。来年度以降も活動センターの運営を続けられるようにするため、新たな社会環境での活動センターの事業・運営について整理、見直しなどをする際のたたき台となる案とした。

事務局から提出されたこの資料を基に、次回の委員会で各委員から意見などをいただきたい。

■次回開催予定日

令和4年度 第3回府中市環境保全活動センター検討調整会

(通算 131 回)

日 時：令和4年6月27日（月）午後2時～

場 所：北庁舎3階 第3会議室